

..... 電子契約

業界別活用事例集

.....

電子的な契約書の基盤となるPDFを生んだアドビの
Adobe Acrobat Signでビジネスをスピードアップ



そもそも電子契約って何？

電子契約を導入または導入を検討する前に、まずは「そもそも電子契約とは何なのか」「導入するとどんなメリットがあるのか」について知ることが大切です。



電子契約とは

電子契約とは、本来は「紙と印鑑」によって締結していた契約を電子的におこなうもので、電子ファイルと電子署名や電子サインを使ってインターネット上で契約を締結し、そのまま電子データとして企業のサーバーやクラウドストレージに保管する方式のことです。

日本では、電子署名法や電子帳簿保存法などの法的環境の整備、電子署名やタイムスタンプなどの技術的環境の整備を背景に、電子契約を導入する企業が急速に増えています。

場所や時間に縛られず、契約や承認などの業務を迅速に遂行できることから、昨今では働き方改革の施策として、またテレワークやBCP（事業継続計画）対策にも有効な手段として、電子契約への注目度がより一層高まっています。



2020年6月に、政府は民間企業や官民の取引の契約書で押印は必ずしも必要ないとの見解を示し、内閣府、法務省、経済産業省が連名で押印に関する法解釈についての文書 (<https://www.moj.go.jp/content/001322410.pdf>) を公表しました。

● 書面契約と電子契約の違い

	書面契約	電子契約
書類の形式	印刷された紙の書面	電子ファイル
署名方法	押印、または直筆のサイン	電子署名・電子サイン
本人性の確認	印鑑証明書	メールアドレス + パスワードや電話認証、または、電子証明書
完全性の証明	契印・割印	タイムスタンプ、監査証跡
受け渡し	原本の郵送、または持参	インターネット通信
保管方法	キャビネットなど	サーバーやクラウドストレージ
印紙	必要	不要



電子契約のメリット

Point

コスト削減

印紙税法第2条において、課税対象とされる文書は書面（紙）の文書を指しており、電子ファイルはこれに該当しません。よって、電子契約で取り交わされる電子ファイルには、印紙税が課せられません。

また、契約者双方がインターネット上でデータをやり取りするため、契約書の印刷や郵送が不要。さらに、締結した契約書データはサーバーやクラウドストレージに保管されるので、保管スペース・保管コストも不要になり、書面契約に比べて大幅なコスト削減が期待できます。

書面契約の場合

封筒・印刷代・
人件費・保管コスト

印紙代
(10,000円*)

郵送代
(400円×往復2)

1契約あたり
印紙/郵送代で計**10,800円**が発生

* 不動産売買契約1,000万円超5,000万円以下の場合

電子契約の場合

人件費

封筒・印刷代・保管コスト・
印紙代・郵送代は

0円!

業務効率化

紙の契約書のように、印刷・製本・押印・封入・郵送といった作業が不要になり、相手から早ければ数分で返送されてくるため、契約締結までの時間を大幅に短縮できます。また、契約の進捗状況を常に確認できるため、漏れや遅延を防ぐことができます。また、過去の契約書を確認する際は、キャビネットから探し出す必要がなく、PCからすばやく検索することが可能です。

1日 2日 3日 4日 5日 6日 7日 8日

書面契約の場合



電子契約の場合



コンプライアンス強化

電子署名とタイムスタンプにより生成される電子契約では、改ざんのリスクが低く、データへのアクセス履歴なども容易に残せるため、業務の透明性を担保できます。

日々発生する多くの契約書類をデータとして一元管理することで、抜け・漏れを防ぐことができ、検索も容易なことから税務調査や会計監査などにも迅速に対応できます。

また、データをセキュリティの高いクラウド上に保管することで、情報漏洩や紛失などのリスクも軽減でき、災害などで万が一データが紛失することがあっても、復元することが可能です。

専門家がおすすめる Acrobat Sign のポイント

30年以上にわたり、デジタルドキュメント分野のリーダーである アドビの電子サインソリューション

電子サインに用いられる代表的な電子文書フォーマットが、PDFです。そのPDFの生みの親であるアドビが提供する信頼性の高い電子サインソリューションが、Acrobat Signです。Acrobat Signなら、業種や規模にかかわらず、どのような企業でも簡単に導入・運用を開始することができ、電子サインがもたらすメリットを容易に得ることができます。

- わかりやすいインターフェイスと直感的な操作性を備えているため、予備知識がなくてもすぐに使い始めることができます。
- 様々な形式の文書にも対応できます。紙の書類もスキャンして検索可能な電子データに変換できます。
- 数回のクリックで署名用の文書を作成し、送付できます。文書への署名と返信も、デバイスを選ばず、わずか数分で完了します。
- 文書の送信から締結までの進行状況を常に把握でき、一連の処理手順は監査証跡として自動的に記録されます。
- 署名済み文書は各企業の業務システムや指定のリポジトリに保管するか、安全で可用性の高いクラウドストレージ Adobe Document Cloudにて保管、管理できます。

業界別活用例



銀行業

契約書の承認フローを効率化

営業支援システムと連携した融資事務支援

連携ソフト

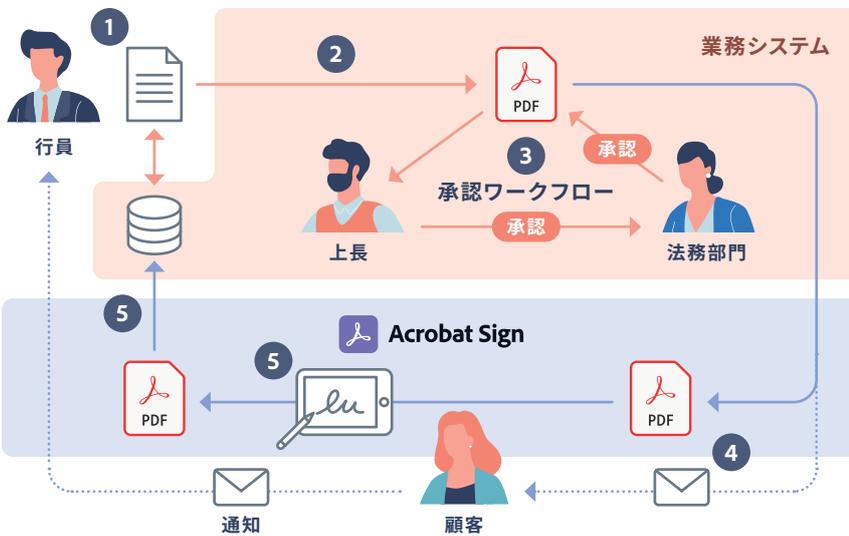
- Microsoft Dynamics
- Salesforce
- kintone など

課題

契約業務にかかる時間の短縮、ワークフローのデジタル化

1

契約書PDFの作成、契約書の承認ワークフローを業務システム内で実装

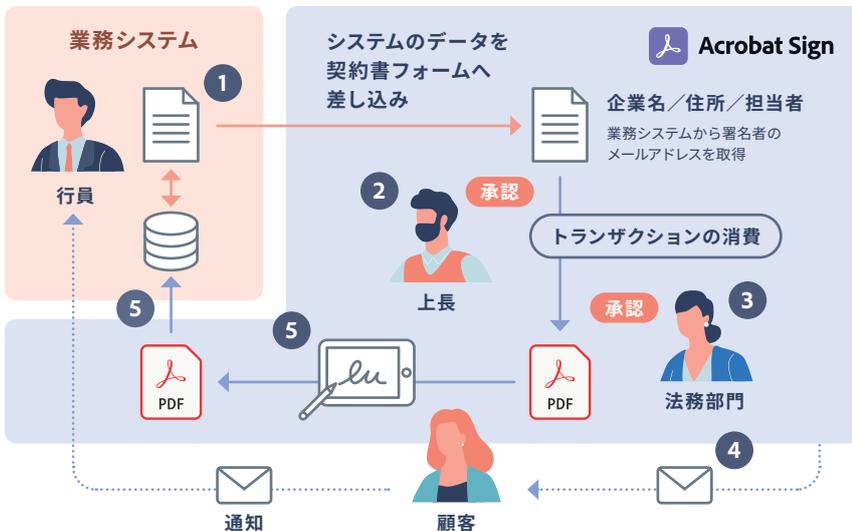


Acrobat Sign 連携業務フロー

- 1 約定書作成 業務システム上で必要情報を入力
- 2 契約書確認 PDFによる契約書を作成
- 3 承認 契約書の確認(行内承認)
- 4 署名依頼 顧客への契約書の送信
- 5 署名 顧客の承認(サイン)・完了した契約書の保管

2

業務システム内で確認(承認)を行い Acrobat Sign内へデータを送ることで、契約書を生成



Acrobat Sign 連携業務フロー

- 1 約定書作成 業務システム上で必要情報を入力
- 2 承認 入力データの確認(行内承認)
- 3 承認 契約書を自動生成・契約管理者の承認
- 4 署名依頼 顧客への契約書の送信
- 5 署名 顧客の承認(サイン)・完了した契約書の保管



システム導入効果

- 契約締結までの時間を短縮でき、お客様の印紙税などの負担を軽減!
- 顧客管理と契約管理を一元化でき、管理業務の負担を軽減!



銀行業

面談を録画し、署名と紐付ける

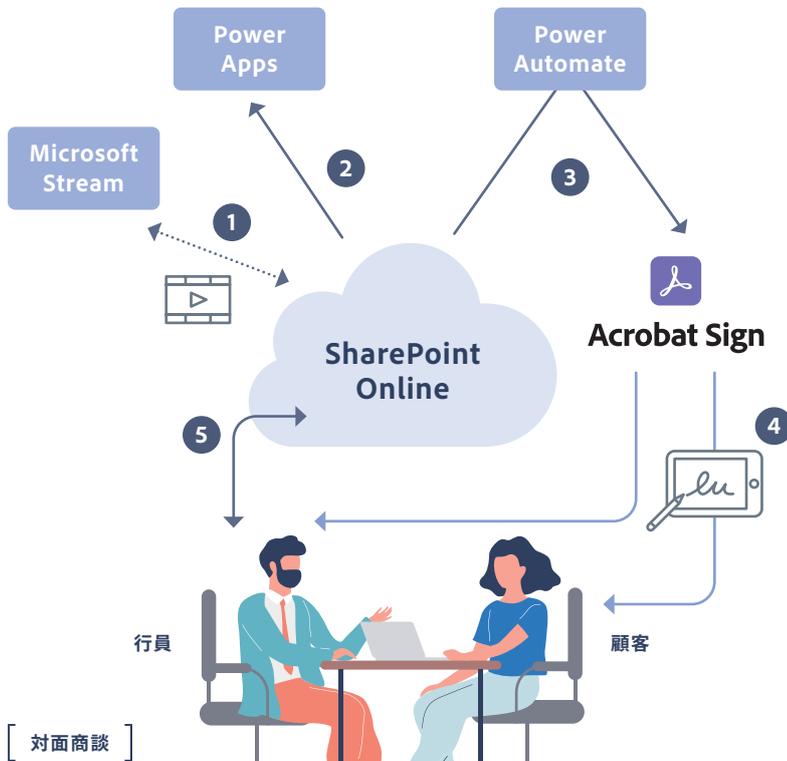
対面商談による署名依頼の処理の自動化

連携ソフト

- SharePoint
- Microsoft Power Apps
- Microsoft Stream など

課題

営業工数の削減、システム入力作業削減、紙の保管コストの削減



- 1 顧客との面談ビデオを SharePointからStreamへ投稿
- 2 SharePointから書類を選択、必要項目を入力して保存
- 3 裏でAcrobat Signを呼び出し、顧客へ署名依頼を発行
- 4 顧客へ署名依頼を発行 顧客の承認 (サイン)
- 5 担当者へ最終確認・完了ドキュメントを SharePointへ保存

※ 医療機関で医者と患者が取り交わす『対面署名』が必要な書面においても利用可能



システム導入効果

- 顧客訪問 (商談) ▶ 必要事項の対面入力でシステムへの入力作業が削減!
- 署名依頼の発行 ▶ 即時サインで営業工数が削減!

ソニー銀行株式会社

ペーパーレスな住宅ローン契約を実現
契約締結までの期間も大幅に短縮

ユーザー事例



2~3週間要していた
契約業務が最短1時間程度に

電子化することで、紙の契約書類を郵送する必要がない



業務負荷と
コストの削減

書類受け渡しの進捗管理から解放され郵送費などのコストも圧縮



実印・印鑑証明、
印紙税が不要に

実印や印鑑登録証明書が不要となり、お客様負担が軽減



契約件数の
大幅な増加に対応

締結までの時間短縮で、増加している契約にも迅速に対応



人材派遣業

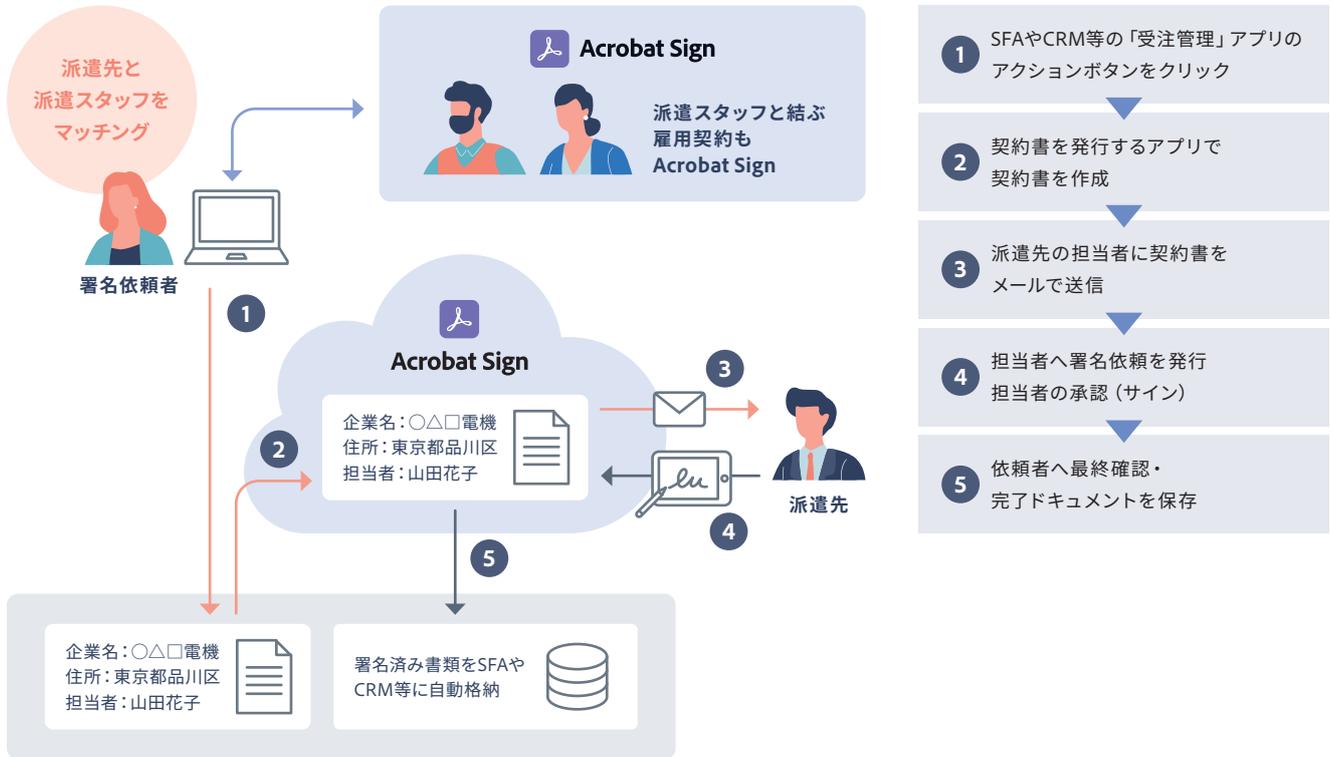
派遣先・スタッフとの契約を まとめて電子化

連携ソフト

- kintone
- Salesforce
- ServiseNow など

課題

月6,000件もの紙とハンコでの契約業務を効率化したい



システム導入効果

- 月間で最大1,000時間超もの「時短」を実現。管理性やセキュリティも向上!
- 再発行や封筒、用紙、印刷などのコストも削減!

横浜トヨペット株式会社

採用関連書類を電子化し、大幅な工数削減を実現
テレワークでも採用業務が可能に

ユーザー事例



紙書類の作成工数の 大幅減

採用書類を作成する負荷が大幅に省け、作業工数が大きく減少



書類の記入漏れが 減少

必須項目の設定で記入漏れが少なくなり、修正のための作業コストも削減



書類回収までの リードタイム短縮

約10日かかっていた業務が4日程度にまで短縮



テレワークで 業務を遂行

採用書類の処理をテレワークでも行えるようになり、働き方改革が推進された



製造業

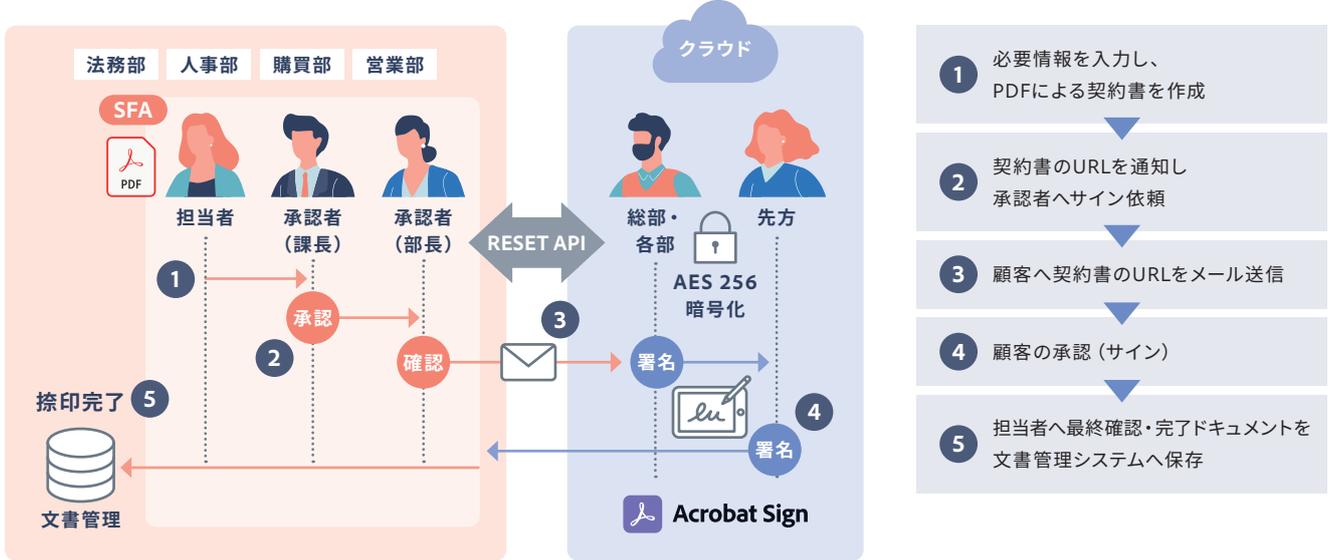
営業支援システムと連携し、紙の業務をペーパーレス化

連携ソフト

- kintone など

課題

営業工数の削減、システム入力作業削減、紙の保管コストの削減



システム導入効果

- ペーパーレスにより、印紙代/発送費/保管などのコストが削減!
- 横断的な部門採用により、全社的な生産性向上/コンプライアンス遵守を実現!



製造業

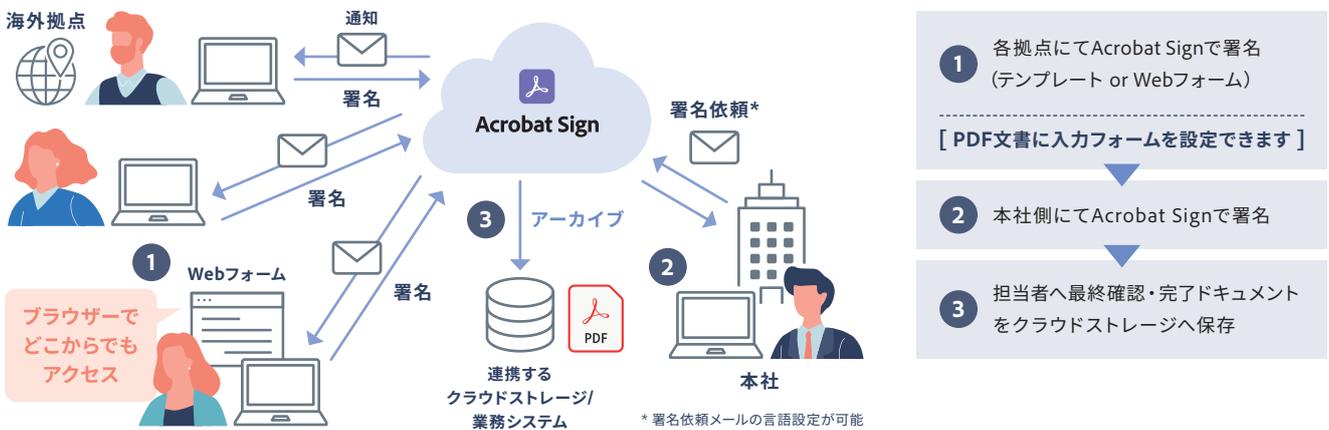
海外拠点との購入申請書などの統制

利用機能

- Acrobat Sign Webフォームなど

課題

紙とPDFが混ざり、本社で文書の一元管理ができない



システム導入効果

- 署名完了までの時間短縮、郵送費の削減が実現!
- 署名の抜け漏れもなくなり、書類もPDFで統一。電子化で一元管理も楽々!



教育機関

受験、入学手続きを電子化

捺印しての郵送が必要な書類を廃止

連携ソフト

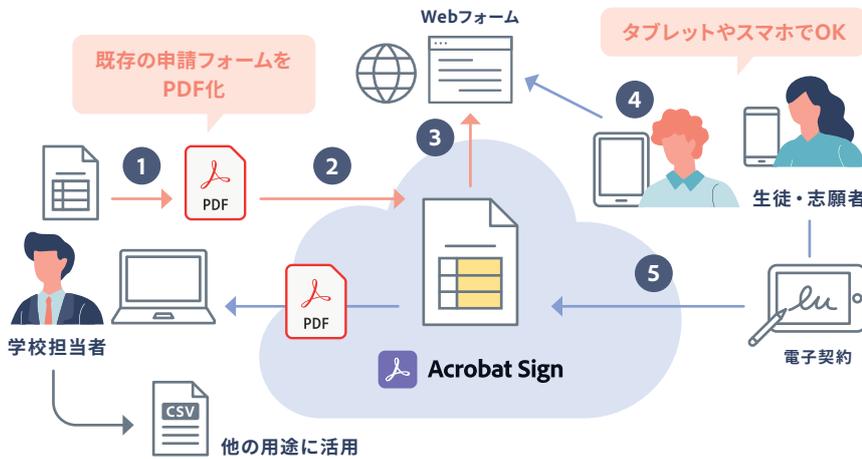
- Acrobat Pro など

利用機能

- Acrobat Sign Webフォーム など

課題

COVID-19により非接触型コミュニケーションに、早急に移行したい



- 1 既存の申請書類をAcrobatでPDF化する
- 2 Acrobat Signで署名欄や入力欄を設定
- 3 入力フォームをWebで公開
- 4 生徒・志願者はスマホで入力・署名
- 5 完了ドキュメントを保存 CSVにすれば他に活用可能



システム導入効果

- 入学手続きの利便性を高め、時代への即応力を大学/専門学校などのアピールに!
- Acrobat Sign Webフォーム機能によるWeb申請受付で、簡単に早期導入できた!



教育機関

留学生との捺印必書類の移行

課題

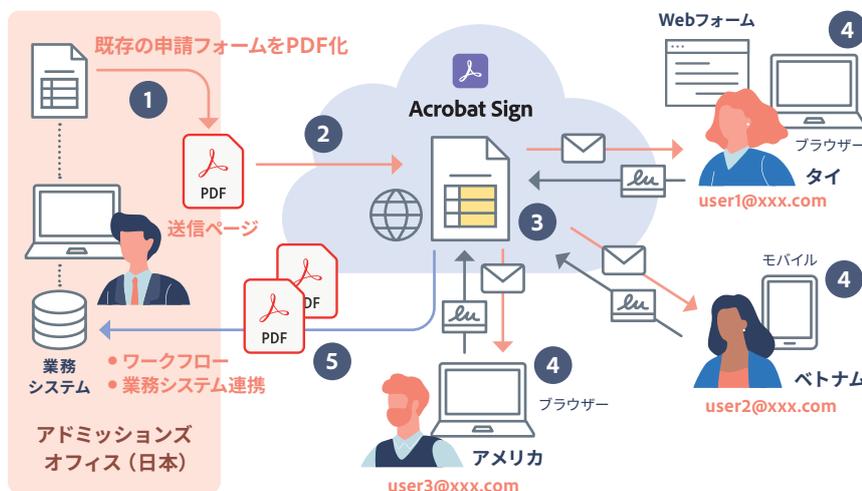
紙とPDFが混ざり、本社で文書の一元管理ができない

連携ソフト

- 業務システム

利用機能

- Acrobat Sign Webフォーム など



- 1 既存の申請書類をAcrobatでPDF化する
- 2 Acrobat Signで署名欄や入力欄を設定
- 3 入力フォームをWebで公開
- 4 留学生は来日しなくてもブラウザで入力・署名
- 5 完了ドキュメントを保存 CSVにすれば他に活用可能



システム導入効果

- メールアドレスさえあれば相手先が導入していなくても利用できる利便性!
- 34の言語から選択できる多言語対応で、幅広い国とのやり取りが可能!
- 留学生受け入れ実務の煩雑さを解消しつつ、国際郵送費用などを大幅に低減!



ペーパーレスの実現

契約書等の保管に物理的なスペースが不要



文書作成ミスの削減

契約書フォームにkintone保管のマスターデータを自動反映しケアレスミスゼロに



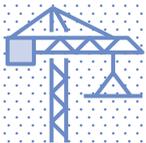
契約手続きに要する時間短縮

1週間が3日程度に短縮。最短で当日完了



関連手続きも同時に処理

振込口座や通勤申請手続きも契約書と併せて登録可能



建設業

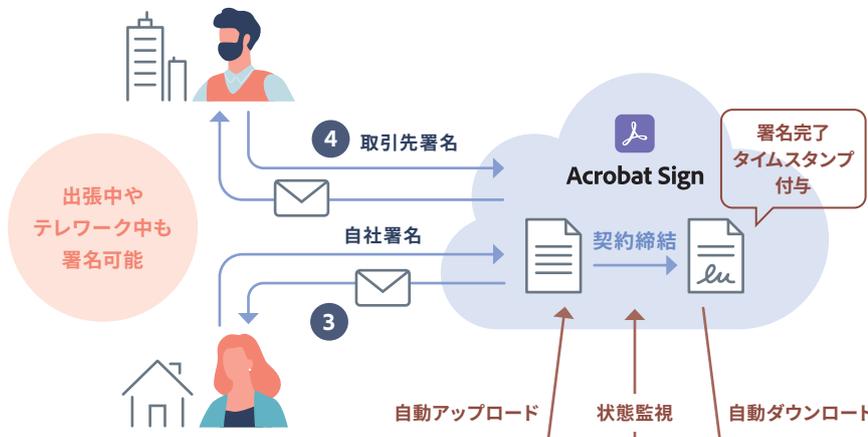
建設工事の請負契約も紙から『電子』へ

連携ソフト

- Agile Works など

課題

建設業界における契約手続きの電子化の動きに対応したい



システム導入効果

- 電子化により電子帳簿保存法の要件にあった管理・検索が可能!
- 印紙税の削減や事務作業の効率化、コンプライアンス遵守の強化を実現!



不動産業

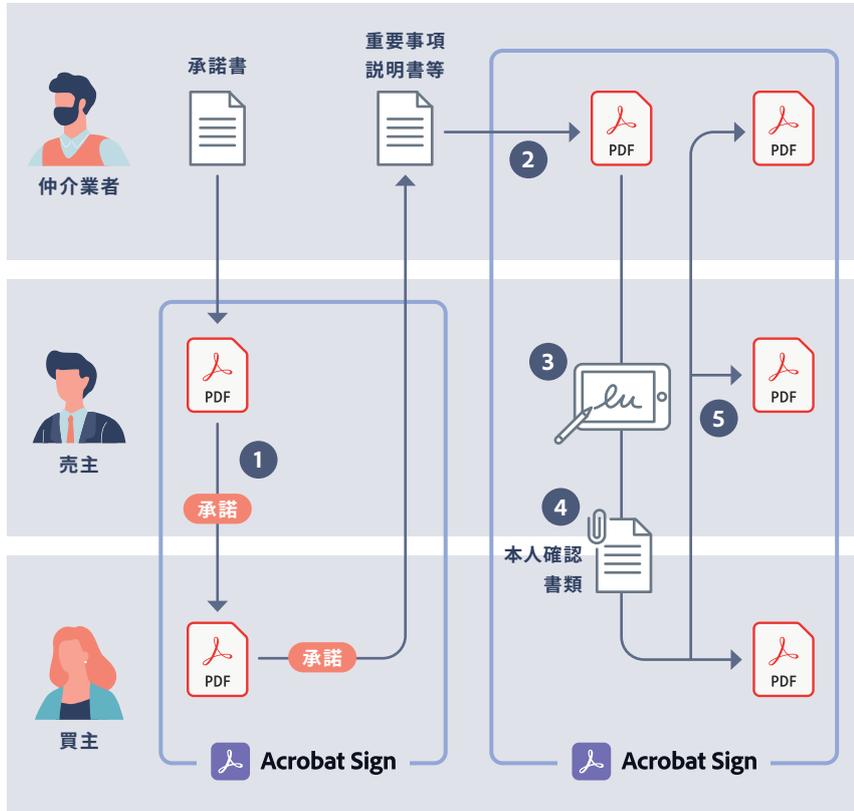
契約業務を電子化し、紙ベースの業務を効率化

連携ソフト

- SharePoint
- kintone など

課題

不動産業界の契約管理業務を電子化・簡略化したい



- 1 Acrobat Signで事前承諾を取得
- 2 対面署名機能で署名依頼を送信
- 3 宅建士、売主、買主の承認（サイン）
- 4 本人確認書類の添付
- 5 署名後の電子書面は全ての署名者に自動送信



システム導入効果

- 契約書の印刷や郵送のコストを削減。保管スペースも不要に！
- いつでもどこにいても署名が可能で、契約締結までの時間を大幅に短縮！

アットホーム株式会社

不動産関連業務を効率化し、手続き時間を短縮

ユーザー事例



契約書の郵送作業が不要に

電子化することで、紙の契約書類を郵送する必要がない



リードタイムの短縮

契約にかかる時間の短縮とそれに伴う管理コストの削減



保管スペースの問題を解消

契約書類の電子化により、契約文書の保管スペースが不要に



ユーザーの手間を削減

名前を入力するだけで契約が成立。押印などの手間が省ける

不動産取引で電子契約は使えるの？

そもそも不動産取引で電子契約は利用できるのでしょうか？

ここでは、2022年5月の法令改正により可能となった「不動産取引関連書面の電子化」について説明します。



不動産取引関連の法令改正について

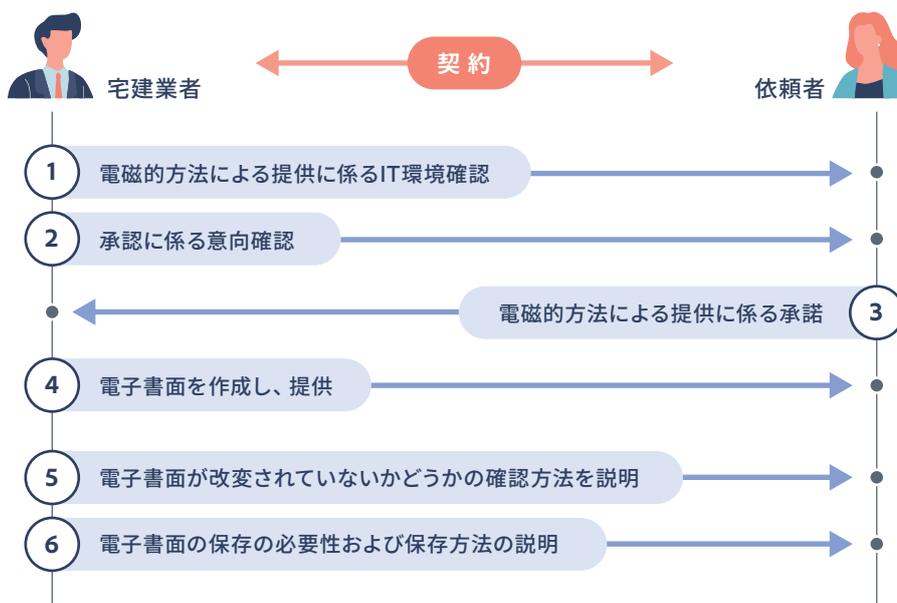
● 電子化可能となる契約書例

文書名	根拠法令
不動産売買・交換の媒介契約書	宅建業法34条の2
不動産売買・賃貸借契約の重要事項説明書	宅建業法35条1項
不動産売買・交換・賃貸借契約成立後の契約等書面	宅建業法37条1項2項
定期借地契約書	借地借家法22条
定期建物賃貸借契約書	借地借家法38条1項
定期建物賃貸借の説明書面	借地借家法38条3項

改正宅地建物取引業法（以下、宅建業法）と改正借地借家法が2022年5月18日に施行され、法律で規定されている上記書面の電子化が可能となりました。

媒介契約書、重要事項説明書、不動産売買契約書・賃貸借契約書（以下、重要事項説明書等とする）でAcrobat Signによる契約締結が可能となりましたが、事前に相手方の承諾を得る必要があります。

● 重要事項説明書等で Acrobat Sign を利用する際の流れと注意点



国土交通省「重要事項説明書等の電磁的記録による提供及び、ITを活用した重要事項説明実施マニュアル」（参照 2022-08-16）

1 相手方の IT 環境を確認する

宅建業者が重要事項説明書等の提供をAcrobat Signにより行う場合、締結された電子書面のPDFデータを依頼者がダウンロードできるか、また、提供する電子書面が改変されていないかどうかを確認できるIT環境が整っているかを、宅建業者側で事前に確認する必要があります。

2 重要事項説明書等の Acrobat Sign による提供についての事前説明

重要事項説明書等をAcrobat Signで提供する前に、依頼者に下記の説明を行う必要があります。

- 重要事項説明書等の電子書面を提供する方法
ex) 電子書面をAcrobat Signにて提供する旨
- 重要事項説明書等の電子書面のファイルへの記録方式
ex) PDFファイルで提供する旨

3 依頼者から電磁的方法による提供に係る承諾を取得する

重要事項説明書等をAcrobat Signにより提供を受けることについて、依頼者から承諾を得る必要があります。

なお、電子メール等により承諾を得る場合には、承諾の有無をめぐる事後のトラブルを防ぐために、承諾する旨を記録した電子書面を書面（紙）に出力可能なファイル形式で取得する必要があります。こちらにつきましても、Acrobat Signで承諾いただくことで手続きをスムーズに進めることが可能です。

4 重要事項説明書等の Acrobat Sign による提供の要件

提供する重要事項説明書等の電子書面は、下記の要件を満たす必要があります。

- 依頼者が出力することにより書面（紙）を作成できるものであること。
- 電子書面が改変されていないかどうかを確認することができる措置を講じていること。

Acrobat Signは締結後のPDFデータをダウンロードし、書面（紙）として出力することが可能です。また、PDFの署名パネルを確認することで、電子書面の改変の有無を確認することができます。

5 電子書面が改変されていないことの確認方法を依頼者に説明する

Acrobat Signで付された電子署名は、PDFの署名パネルから確認することができます。当該方法が提供時点から将来のある時点において、署名後のPDFファイルが改変されていないかどうかを確認するために必要な方法であることを依頼者に対して説明を行い、確実に理解いただく必要があります。



6 電子書面の保存の必要性および保存方法を説明する

電子書面の重要性と併せて、Acrobat Signで受領した電子書面をどのような方法により保存することができるのかなどを依頼者に説明する必要があります。また、必要に応じて、バックアップのためにPDFファイルをコピーしたり、書面（紙）に出力して保管することを提案します。

POINT

定期借地契約でAcrobat Signを利用する場合の注意点

借地借家法の改正により、定期借地契約、定期建物賃貸借契約でもAcrobat Signによる運用が可能となりました。しかし、事業用定期借地契約については法律上、契約を「公正証書によってしなければならない」と規定されているため、Acrobat Signを利用することができません（2023年1月時点）。

世界中で選ばれている電子契約ソリューション



世界最高水準の厳格な セキュリティ基準に準拠

Acrobat Signは、ISO27001、SOC2Type2、クレジットカード業界で使われているPCI DSSなどのセキュリティ基準に準拠。1,000項目あまりのセキュリティ対策規定に基づき提供されます。



Microsoftが推奨する 電子契約ソリューション

例えば契約書PDFが格納されているSharePointのフォルダ上から任意のPDFを選択しSharePoint上から署名依頼を送信することも可能。普段の業務の一環として簡単に契約業務を行えます。



契約書の作成から格納まで 文書プロセスを自動化

Salesforceやkintone、Google Driveなどと連携するAcrobat Signは契約書の作成から格納まで文書プロセスを自動化でき、さらに業務を効率化することも可能です。



36カ国の言語に対応。 海外との取引にも利用可能

Acrobat Signは世界36カ国の言語に対応しているため海外との取引にも利用可能。世界中で年間80億以上の取引を支えている実績があります。



ドゥ・ハウスが行った日本国内の電子契約サービスに対するイメージ調査において、Acrobat Signは士業・IT業務担当者が選ぶ「業務効率化ができる」と思う電子契約サービスNo.1と評されています。



ITreviewユーザーが支持した電子契約ソリューションでAdobe Acrobat Signは電子契約カテゴリにおいてLeaderに選出されています。

導入企業



DeNA

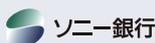
HITACHI
Inspire the Next

at home



Eat Well. Live Well.

Aj
AJINOMOTO



RICOH
imagine. change.



DENTSU
DIGITAL

Adobe Acrobat Sign 無料体験版

Adobe Acrobat Signを **30日間無料** でお試しください。



詳細はこちら

<https://www.adobe.com/jp/sign/free-trial-global.html>



お問い合わせ先

▼ 電話

0120-921-104 受付時間
平日9:30 - 18:00

▼ オンライン

<https://www.adobe.com/jp/sign.html>



アドビ株式会社

このカタログに記載の情報は、2023年1月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。
なお、本資料記載の『連携ソフト』は一例の記載となりますので、ご注意ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2023 Adobe. All rights reserved. ASJST1913 01/23



世界中で選ばれている電子契約ソリューション



世界最高水準の厳格なセキュリティ基準に準拠

Acrobat Signは、ISO27001、SOC2Type2、クレジットカード業界で使われているPCI DSSなどのセキュリティ基準に準拠。1,000項目あまりのセキュリティ対策規定に基づき提供されます。



Microsoftが推奨する電子契約ソリューション

例えば契約書PDFが格納されているSharePointのフォルダ上から任意のPDFを選択しSharePoint上から署名依頼を送信することも可能。普段の業務の一環として簡単に契約業務を行えます。



契約書の作成から格納まで文書プロセスを自動化

Salesforceやkintone、Google Driveなどと連携するAcrobat Signは契約書の作成から格納まで文書プロセスを自動化でき、さらに業務を効率化することも可能です。



36カ国の言語に対応。海外との取引にも利用可能

Acrobat Signは世界36カ国の言語に対応しているため海外との取引にも利用可能。世界中で年間80億以上の取引を支えている実績があります。



ドゥ・ハウスが行った日本国内の電子契約サービスに対するイメージ調査において、Acrobat Signは士業・IT業務担当者が選ぶ「業務効率化ができる」と思う電子契約サービスNo.1と評されています。



ITreviewユーザーが支持した電子契約ソリューションでAdobe Acrobat Signは電子契約カテゴリにおいてLeaderに選出されています。

導入企業



DeNA

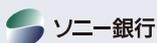
HITACHI
Inspire the Next

at home



Eat Well. Live Well.

Aj
AJINOMOTO



RICOH
imagine. change.



DENTSU
DIGITAL

Adobe Acrobat Sign 無料体験版

Adobe Acrobat Signを **30日間無料** でお試しください。



詳細はこちら

<https://www.adobe.com/jp/sign/free-trial-global.html>



お問い合わせ先

▼ オンライン

<https://www.adobe.com/jp/sign.html>



アドビ株式会社

このカタログに記載の情報は、2023年1月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。なお、本資料記載の『連携ソフト』は一例の記載となりますので、ご注意ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2023 Adobe. All rights reserved. ASJS1913 01/23

